

那須の自然を外来生物から守る!

8月7日、「那須の自然を学び・守る体験学習プログラム～那須高原のオオハongoンソウ駆除活動」が行われました。那須高校・那須中央中・那須中の生徒、住民ら約100人が参加し、なす高原自然の家で環境省の職員から「特定外来生物」のガイダンスを受けたあと、八幡ツツジ園地内で特定外来生物であるオオハongoンソウを駆除しました。

那須中2年の森下颯さんは「外来生物の話聞いて、在来種のために、オオハongoンソウを駆除しなければならないと思いました。那須の自然を守るためにも、このような活動にまた参加したいです」と振り返りました。

(駆除した量は約400kgにもなりました)



恐竜はどんな生き物? 恐竜くんトークショー



8月17日、文化センターで文化センター自主事業「恐竜くんトークショー 恐竜の不思議おしえます!」が開催されました。

恐竜くんは、クイズをとおして恐竜の種類や骨格などを話し、子どもたちからの「恐竜は何歳まで生きていたか」「恐竜の体のつくりはどうなっていたか」「なぜ、恐竜は大きかったのか」などの質問一つひとつ答えながら、恐竜がどんな生き物だったか、恐竜がどんな世界で生きていたかなどを話してくれました。

夏の思い出



今年は那須中央中学校の生徒も参加し、部活動ごとにおそろいの衣装で元気に踊りました(8/15 なすっこ祭り)



黒田原駅前通りは一日楽しいイベントで盛りだくさん。地元那須高校の生徒たちも浴衣を着て参加しました(7/27 黒田原夏まつり)



今年も元気なひまわりが咲きました(8/4 ひまわりまつり 狸久保地区)



町内4つの保育園で「川をきれいにする基金事業」の一環としてヤマメの稚魚放流事業を実施。バケツいっぱいのヤマメを放流しました(7/23 大島地区河川敷 黒田原第1保育園)



神事が行われた後、威勢の良い掛け声とともに、御飯屋から町内へと繰り出していき、子ども神輿も続いて繰り歩きました(7/27 黒田原八雲神社例大祭)



成沢スポーツ愛好会主催のマスつかみ取りが行われました(8/15 矢の目ダム公園)